

— 海にかかわる総合コンサルタント —

# 株式会社 日本港湾コンサルタント

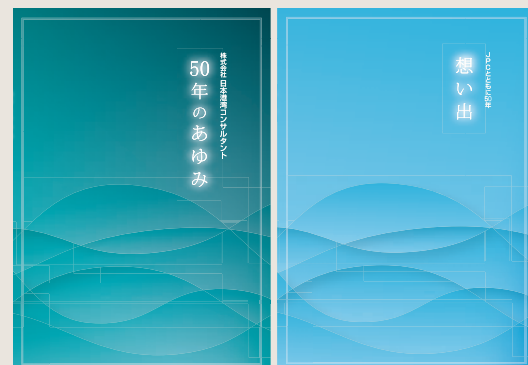
Japan Port Consultants, Ltd.



所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田8-3-6  
TK五反田ビル

TEL : 03-5434-5671  
FAX : 03-5434-5375  
URL : http://www.jpportc.co.jp/  
従業員：139名  
設立：昭和36年4月1日  
代表者：代表取締役社長 輪湖建雄

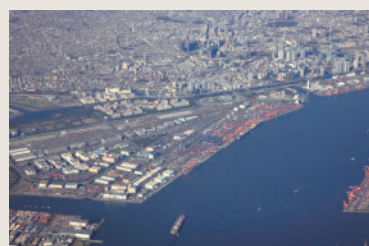
おかげさまで  
50th  
創立



50周年記念誌「50年のあゆみ」と「想い出」



半円形ケーソン防波堤(宮崎港)



大井コンテナふ頭(東京港)



富津火力LNGバース(千葉県 木更津港)

## 沿革

当社は、鮫島茂博士、岡部三郎博士、黒田静夫博士等の港湾技術界の先達が中心となって発足した「日本港湾コンサルタント協会」(昭和34年設立)を前身として、昭和36年4月に設立され、今年で創立50周年を迎えます。海にかかわる総合コンサルタントとして、国内外の顧客から「JPC」という略称で呼ばれ、港湾関連コンサルタントのリーディングカンパニーとして時代に先駆けて社会の発展に寄与してきました。

## 社風など

当社の社風を表現するとすれば「独立自尊」と「自由闊達」だと思います。業務の遂行に際して、関係する技術者が品位と責任を持ち、幅広い視野で自由闊達な議論を行いながら仕事を進めています。

一方、業務以外の活動も活発で、会社の設立とともに発足した野球部は初代社長の名に由来する「SHARKS」というチーム名で、設計健保や建コン協等の大会に参加しています。また、社長の名を冠した社内ゴルフコンペ「輪湖杯」や、数年前より同業他社10社と「Dリーグ」というフットサルリーグを立ち上げ、年に4~5回の頻度でリーグ戦を繰り広げ、試合に懇親にと励んでいます。

## 技術と実績

### ・ 基盤整備

地域の経済活動を支えるインフラともいえる防波堤、護岸、航路、浮標等の港湾施設の計画・設計を数多く行ってきました。特に二重円筒ケーソン、半円形ケーソン等の新型構造物の開発設計等は当社の得意な分野です。また、施設の維持管理や港湾保安業務にも対応しています。

### ・ 物流

アジア諸国をはじめとする新興国の経済発展や経済活動のグローバル化により、今後、我が国とアジアの物流量が益々増大することが予想される中、日本の貿易量は、重量ベースで99.7%が海上輸送に依存しています。我が国の経済活動を支え、豊かな社会を創出するために、物流の拠点となる施設の計画・設計等に取り組んでいます。

### ・ エネルギー

現代社会に不可欠な要素であるエネルギー施設にも数多くかかわってきました。原子力発電所並びにLNG・石炭等の火力発電所、石油備蓄基地、LNG受け入れ基地等の計画・設計等を行っています。

### ・ 交通

港と背後地を結ぶ橋梁やトンネル等の構造物を含む臨港道路や人工島を造成して建設される海上空港



上五島石油備蓄基地(長崎県 青方港)



関西国際空港



海王丸パーク(富山県)



横浜ベイサイドマリーナ



あわじ交流の翼海の駅(淡路交流の翼港)



ブルーウィングもじ(北九州市)



横浜海上防災基地(海上保安庁)



尼崎閘門(兵庫県)



阪神淡路大震災



東日本大震災



ダナン港開発事業(ベトナム)

の整備事業等についても、計画・調査・設計・施工監理等あらゆるフェーズにおいて参画しています。

### ・ レジャー施設/景観設計等

臨海域におけるレジャー施設や景観設計へ取り組んできました。そして、地域づくりや景観づくりに際して、培ってきた豊富な経験を活かしながら、常に新しい技術に取り組み、地域社会の発展に寄与してきました。

### ・ 漁港

「とる漁業」から「育てる漁業」への転換などにも対応した漁港の整備や高度化のみならず、レクリエーション施設としての漁港海岸や耐震岸壁の整備など安全で災害に強い漁港の整備に取り組んでいます。

### ・ 防災・災害復旧

排水機場や水門をはじめ、支援物資の運搬に資する広域防災基地や耐震強化岸壁の計画・設計等、臨海地域の防災対策にも数多くの実績があります。また、防災対策のみならず、災害発生時には現地調査を行い、被害状況の把握や災害復旧計画の策定等、災害復旧業務全般に関してサポートを行っています。

### ・ 数値シミュレーション/水理実験等

PCクラスタやGPU等の高速なコンピュータを導入し、波浪・海浜変形、津波シミュレーション、FEMによる構造解析、地震振動解析等を実施しています。ま

た、数値モデルが確立されていない複雑な現象に対しては水理実験等も行っています。

### ・ 海外業務

当社では創立当初から世界各国で港湾開発事業のコンサルティングを行ってきました。日本政府の開発援助案件や現地政府との直接契約だけでなく、最近では民間企業からの受注も増加しています。港湾開発計画調査から、港湾施設の設計、施工管理業務まで、一連のサイクル全体を幅広く担っています。

## 東日本大震災への対応

本年3月11日に宮城県沖で発生した大地震による大津波は、岩手県、宮城県、福島県沿岸部に未曾有の被害を惹き起しました。当社では週明けの3月14日に対策本部を設置し、経験豊富な技術者を中心に可能な限りの人的資源の投入を行うこととしました。その災害の規模から復興に向けた道程は険しく長いものになると思われませんが、過去の災害・防災関連業務の経験とノウハウを駆使して行政への協力を最大限かつ継続的に行うことを会社方針として決定し、社員一丸となって行動しているところです。

(文:管理本部 品質管理部 市場嘉輝)